

# 令和8年度 年間指導計画（評価計画） 理科 7年

## 1 評価の観点及びその趣旨

観 点		趣 旨
①	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題点を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、また表現するなど、科学的に探究している。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。

## 2 年間指導計画

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価規準	評価方法			
4 5 6	1 いろいろな生物の共通点	1 生物の観察と分類のしかた （継続観察） ・生物の観察 顕微鏡の使い方 ルーペの使い方 スケッチの仕方 ・生物の特徴と分類	5	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生物に関心をもち、進んで観察しようとする。</li> <li>身近な生物に関して、目的意識をもって観察を行い、生育環境について自らの考えを導き、また表現している。</li> <li>顕微鏡やルーペの使い方、スケッチの仕方などを習得するとともに、生物の調べ方の基礎を身に付けている。</li> <li>いろいろな生物がさまざまな場所で生活していること、水や光の量により植物の種類や生育状況に違いがあることについて理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> <li>家庭での課題</li> <li>自然の事物、現象への振り返り</li> </ul>			
		2 植物の分類 ・花のつくり ・果実をつくらない花 ・葉や根のつくり ・種子をつくらない植物 ・さまざまな植物の分類		8			③	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな植物のからだのつくりとはたらきに関心をもち、進んで観察を行い、科学的な基準により植物をなかま分けしようとしている。</li> <li>身近な植物を観察し、その結果から植物のからだのつくりの特徴や規則性などを基に、植物の分類の観点を明らかにし、正しい分類ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>植物の分類</li> <li>動物の分類</li> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、現象への振り返り</li> </ul>
		3 動物の分類 ・身近な動物の分類 ・脊椎動物 ・無脊椎動物 ・動物の分類表の作成					8		
7 9 10 11 12	2 身の回りの物質	1 身の回りの物質とその性質 ・物の調べ方 ・金属と非金属 ・さまざまな金属の見分け方 ・白い粉末の見分け方 ・実験器具の使い方	7	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の性質の調べ方、気体の発生や性質などに関心をもち、進んで実験しようとしている。</li> <li>物質の性質や気体の発生、性質などの観察実験を行い、その結果をまとめ、規則性を見出し、科学的に表現している。</li> <li>物質の性質を調べる実験を行い、その結果を正しく記録できる。また、その結果を基に科学的に考察し、自分の考えをまとめて表現し、日常生活と関連付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、事象への振り返り</li> </ul>			
		2 気体の性質 ・身のまわりの気体の性質 ・気体の性質と集め方		7			①	<ul style="list-style-type: none"> <li>気体の発生の実験を正しく行い、気体の発生方法とその性質など、基本的な概念や原理法則を理解し、その知識を身に付けている。また、その結果を基に科学的に考察し、自分の考えをまとめて表現し、日常生活と関連付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、現象への振り返り</li> </ul>
		3 水溶液の性質 ・物質が水にとけるようす ・溶解度と再結晶					8		
4 物質の姿と状態変化 ・物質の状態変化 ・状態変化と体積・質量の変化 ・状態変化が起こるときの温度とその利用（融点と沸点）	10	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の状態変化や沸点、融点などに関心をもち、進んで実験しようとしている。</li> <li>物質の状態変化や沸点、融点などの実験を行い、その結果を正しくまとめ、自分の考えを表現している。</li> <li>状態変化と熱、物質の融点と沸点に関する観察実験の基本操作を習得するとともに、結果を正しく記録し科学的に考察することができる。</li> <li>物質は融点や沸点を境に状態が変化すること、また、そのとき体積は変化するが質量は変化しないこと、沸点の違いによって物質の分離ができることなどについて理解している。また、身近な事象に関連付けて状態変化を考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、事象への振り返り</li> </ul>					

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価規準	評価方法
1 2 3	3 身の回りの現象	1 光の世界 ・物の見え方 ・光の反射 ・光の屈折 ・レンズのはたらき	10	③ ① ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>光の反射、屈折、凸レンズのはたらきやできる像に関心を持ち、自ら進んで実験しようとしている。</li> <li>光の反射、屈折、凸レンズでできる像についての実験を正しく行うことができる、また、その結果から光や像の性質や規則性を発見し、適切な記録をもとに科学的に考察し、自分の考えを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> </ul>
		2 音の世界 ・音の伝わり方 ・音の大きさや高さ	6	① ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の性質に関する観察実験の基本操作を習得するとともに、その結果の記録や整理の方法を身に付けている。また、音の発生と伝わり方、音の高さや大きさの違いについて、発音体の運動と関連付けて説明することができる。</li> <li>音の発生と伝わり方、音の高さや大きさの違いについて知識を身に付け、日常生活に関連付けて考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、事象への振り返り</li> </ul>
		3 力の世界 ・日常生活のなかの力 ・力のはかり方 ・力の表し方 ・力のつり合い	10	③ ② ① ② ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>力のはたらき、2力のつり合いに関する現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする。</li> <li>力がはたらいた物体の形や運動のようすの変化、2力のつり合いなどについて実験を行い、自分の考えをまとめ表現している。</li> <li>力のはたらき、2力のつり合い、圧力に関する観察実験の基本操作を習得するとともに、グラフの書き方など、実験結果を正しく記録して科学的に考察することができる。</li> <li>物体に力がはたらくと変形したり、運動の様子が変わったりすること、力は大きさと向きによって表されること、2力のつり合いの条件などについて知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験レポート</li> <li>グラフの書き方</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、事象への振り返り</li> </ul>
4 5 7 9 1 2 1 3	4 大地の変化	1 火をふく大地 ・火山の姿からわかること ・火山の噴火によってふき出される物 ・火山活動と火成岩 ・火山とともにくらす	8	③ ① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>火山活動と火成岩の特徴について興味をもち、火山国に暮らす者として進んで関わり、科学的に探求しようとしている。</li> <li>火山の形や活動のようす、火山噴出物とマグマの性質との関連を説明することができる。また、火山岩と深成岩の組織の違いとその成因について説明することができる。</li> <li>火山を含めた自然と人間の関わり方について、自分の考えをまとめ、火山に関係する災害について正しく理解し、防災意識を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察レポート</li> <li>実習レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>防災への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、事象への振り返り</li> </ul>
		2 動き続ける大地 ・地震のゆれの伝わり方 ・地震が起こるところ ・地震に備えるために	8	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震波の伝わり方、地震の規模や揺れの大きさとその規則性について、プレートの動きに関連付けて説明することができる。また、資料を活用し科学的に地震を考察することができる。</li> <li>地震が発生するの原因と地球内部のはたらきを関連づけ、プレート動きと関連付けて地震のメカニズムを説明することができる。</li> <li>自然災害時の情報収集や必要な避難行動についての知識を身に付けている。また、自分の考えを表現し、地震や火山災害に対する備えについて自分ごとと捉え、進んで関わろうとしている。</li> </ul>	
		3 地層から読み取る大地の変化 ・地層のなり立ち ・堆積岩 ・地層や化石からわかること ・大地の変動 ・身近な大地の歴史	10	③ ① ② ① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>地層の重なりと過去のようすに関心をもち、それらを科学的に探求しようとするとともに、自然環境の保全に進んで関わろうとしている。</li> <li>地層のなり立ちについて自分の考えを導き、地層をつくる堆積岩ができるしくみとその特徴をまとめ、基準に基づいて分類し、堆積岩の組織について正しく表現することができる。</li> <li>地層の重なりと過去のようすに関する野外観察などの基本操作を習得している。また、野外観察の結果の記録や整理の方法を理解し、地層の立体的な広がりについて考察することができる。</li> <li>地層の重なり方や広がり方についての規則性、地層とそその中の化石を手がかりとして過去の環境と地質年代を推定できることについての基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習レポート</li> <li>授業への取り組み</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> <li>自然の事物、現象への振り返り</li> </ul>